□議員名：濱本健吾

1　竜王山公園のアスレチック及びインクルーシブ遊具について

論点	本市の竜王山公園オートキャンプ場のアスレチックが、いまだに有料の理由は何か。
回答	当施設はあくまでオートキャンプ場利用者のための遊具として、整備した有料公園であるため。

2　日の出保育園の建て替えについて

論点	日の出保育園の園児は現在約９０名で、今後少子化が進む見込みの中、定数１２０名で建て替えを進める理由は何か。
回答	日の出保育園の建て替え後の定員１２０名については、山陽小野田市公立保育所再編基本計画における整理を基礎とし、日の出保育園建設事業に本格的に着手するに当たり、最終的な施設の具体的な規模を定める中で設定したものである。

論点	日の出保育園の建て替えにかかる総額は幾らか。
回答	現時点における事業費の合計は１７億１，４７１万２，０００円である。令和９年度以降に現園舎の解体や園庭整備などの工事を予定しているところであるが、これらについては、現時点で具体的な事業費が定まっていないことから、建て替え事業全体の総額については未定である。

3　子育て政策について

論点	毎年約２０億円前後が理科大への運営交付金として拠出されていますが、算出根拠は何か。
回答	交付額の算定については、市と山口東京理科大学が協議し、大学運営に必要となる年間経費の総額から、入学金や授業料など大学自らが確保する収入、いわゆる自主財源を差し引いて、不足する額を運営費交付金として算定している。

論点	人件費等の３項目で、４年間で約１０億円の執行残がある。交付金

	の水準を見直すべきではないか。
回答	当初の見積りから経費の削減等に努めている、あるいはシステムの更新の時期を先延ばしにしているという状況も把握しているが、こちらのほうも予算積算を協議する中で精査をしていきたいと考えている。

4　中学校部活動の地域展開について

論点	地域クラブがグラウンドを早期予約するようになったことで、地域クラブではないクラブチームがやむを得ず近隣他市で練習せざるを得ないことが以前より増えたと聞いた。地域クラブへの優先的な予約枠はあるか。
回答	現在、市内の体育施設において、認定地域クラブ活動を行う団体が利用する場合には、通常は１か月前からの予約を開始するところ、利用日の２か月前から優先的に施設予約の申請ができる取扱いとしている。